

サクラサク

烏賊松









高校受験の
三ヶ月前

俺は
姉貴の下着で
オナツてる現場を
見られてしまった



姉貴にバカにされて
ブチ切れた俺は

姉貴を見返すために
その日から生活態度を
改めて必死で勉強した

もちろん
サルのように
毎日していた
オナニーも
封印して



ありえない
勢いで勉強
しまくった

コケの一念
岩をも通す

三ヶ月後



俺は
見事に
合格した

姉貴の下着だとか
裸だとか
そんな事は一切
頭になく



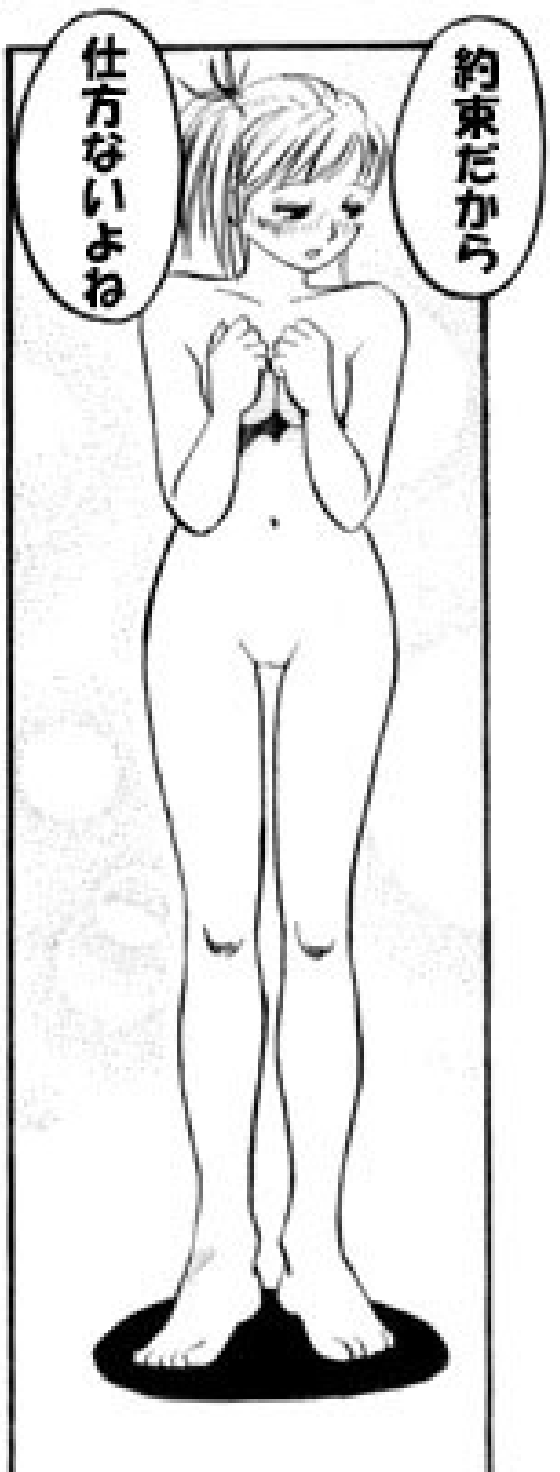
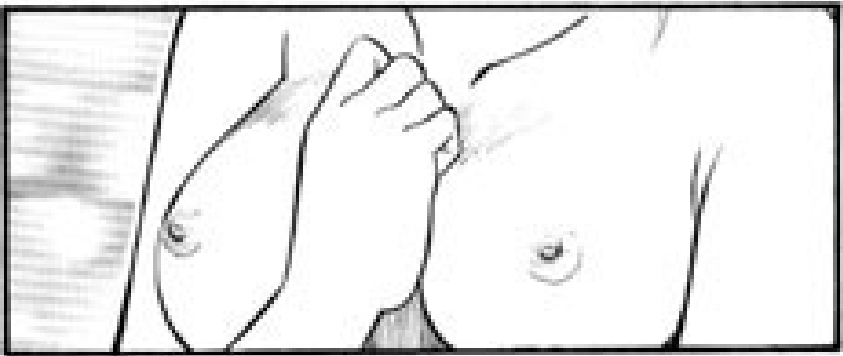
ただ姉貴の悔しがる顔を
見たい一心が俺を
本気にさせたのだ

でも意外な事に
絶対悔しがると
思っていた姉貴は



まるで自分の事のように
俺の合格を
喜んでくれた

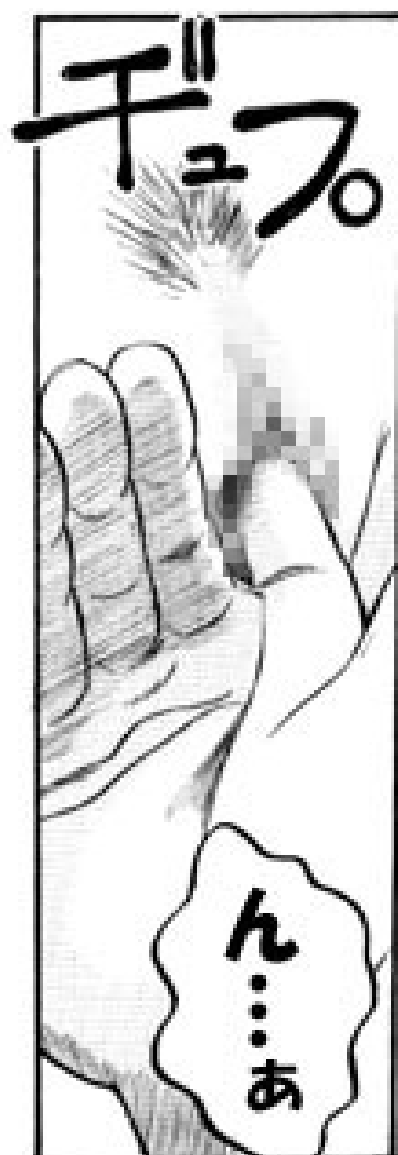
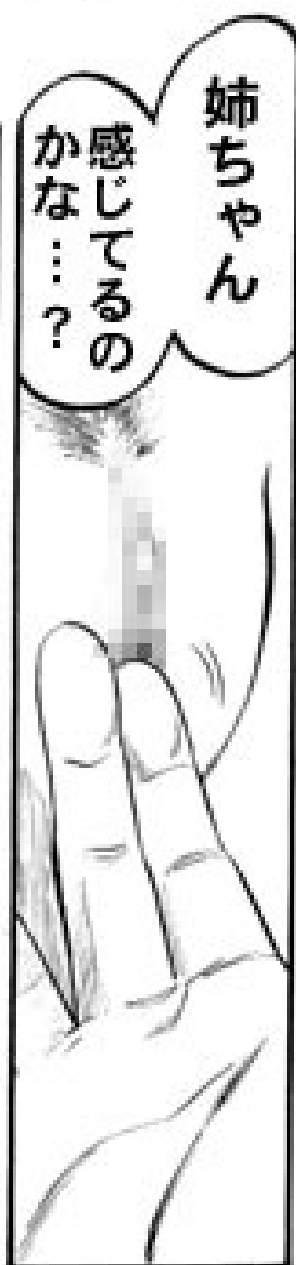










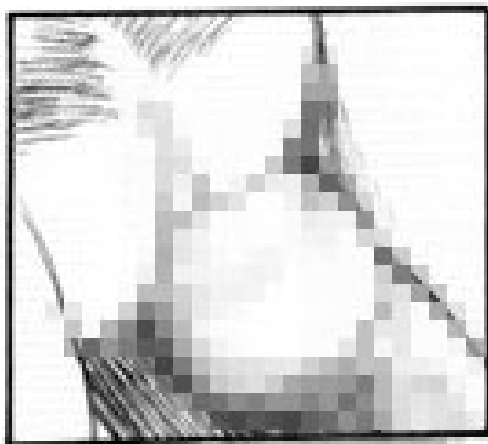




俺はもちろん
姉貴もSEXの
経験はなかった
ようだ



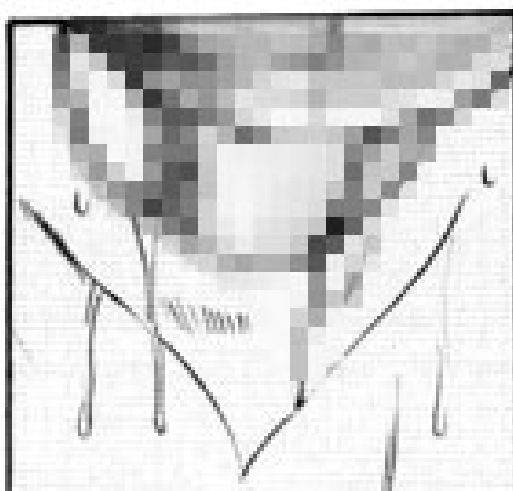
俺はそれまでに見た
色んなAVを思い出して
ち○ち○を押し込んだ



でも先っぽが
やつと入っただけで
それ以上はなかなか
入らない



一度抜いて
思いっきり差し込むと



なんとか根元まで
挿入する事が
できた

でも今度は
ギョウギョウに
締め付けられて

抜く事も
動く事も
できなくなった



そして
なんとかしようと
もがいていたら



……と言う間もなく



姉ちゃん
待っててくれよ

週2〜3回のペースで
続いていた
俺たちの関係も
もうすぐ終わる



あの日から
1年――

きこちなさ
いっぱいの
初体験だったが

俺にとっては
実に忘れがたい
姉貴からの
合格祝いになった

春から姉貴が
家を出て東京の
大学へ行くからだ



俺も絶対
東京の大学に
合格するから